

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 58' 36"	
				経度	140° 30' 1"	
相生橋 (フリガナ)アイオイバシ	町道薄田通り	北海道岩内郡岩内町字相生・字野東				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2015.6.15	野東川(二級河川)	有	一般道	その他	無し

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者				日本データサービス株式会社		点検責任者		神尾 友二		
点検時に記録				措置後に記録						
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)		措置後の 判定区分		変状の種類		措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	II	ひびわれ	写真001,主桁01						
	横桁	II	漏水・遊離石灰	写真002,横桁02						
	床版	II	漏水・遊離石灰	写真003,床版01						
下部構造		II	ひびわれ	写真004,下部工01						
支承部		III	土砂詰まり	写真005,支承部101						
その他		III	漏水・滞水	写真006,伸縮装置01						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録				措置後に記録			
(判定区分)	(所見等) 判定区分IIIの損傷は進行すると橋梁の機能低下の要因となるので早期対策が必要である。			(再判定区分)		(再判定実施年月日)	
III							

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	
1978年	48m	16.80m	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載の

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>写真001 上部構造・主桁(主桁01)【判定区分: Ⅱ】</p> 	<p>写真002 上部構造・横桁(横桁02)【判定区分: Ⅱ】</p> 
<p>写真003 上部構造・床版(床版01)【判定区分: Ⅱ】</p> 	<p>写真004 下部構造(下部工01)【判定区分: Ⅱ】</p> 

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載の

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>写真005 支承部(支承部101)【判定区分: Ⅲ】</p> 	<p>写真006 その他(伸縮装置01)【判定区分: Ⅲ】</p> 
<p>—【判定区分: 】</p>	<p>—【判定区分: 】</p>